

## カネミ油症新認定訴訟

# 法廷ニュース NO. 5

カネミ油症被害者支援センター

問い合わせ 090-1792-4985 YSC 藤原

暑い日が続いていますが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

4月7日の公開法廷での原告本人尋問の後、6月9日に小倉支部で、最後の原告本人尋問が名古屋と広島とのテレビ電話方式で行われました。

その後、被告カネミ倉庫の証人申請が認められ、9月1日の弁論期日に、三和油脂社員の松本証人と、原告側からも証人申請をした油症研究班班長である古江増隆氏の証人尋問が行われることになりました。

### ☆ 今回の裁判について

松本征史氏には、当時の技術水準ではPCBの混入は予見できなかったことなどの証言を求めているようです。カネミ倉庫の責任は既に確定しており、無駄な裁判引き延ばしとしか言えないものです。一方の油症研究班ですが、カネミ倉庫は油症の症状についても争うつもりで、これは原告としても看過できないとして、原告側も申請し、共同申請で古江班長に決定しました。古江班長に対しては原告・被告双方とも主尋問、反対尋問が行われます。

- ① 古江増隆証人 九州大学大学院教授（全国油症治療研究班 班長）  
2011年9月1日（木） 11時～12時 原告主尋問  
同日 13時10分～14時10分 被告主尋問
- ② 松本征史証人 三和油脂株式会社社員  
同日 14時30分～16時 被告主尋問・原告反対尋問

今回で実質的な証拠調べが終了します。いよいよ「早期結審、年度内判決」が目標になります。どうか傍聴・ご支援よろしくお願ひ申し上げます。

**傍聴席を一杯にして古江班長の証言を注視しましょう！**

### 原告団・弁護団・支援者 懇親会・交流会のご案内

裁判終了後弁護団は進行協議（傍聴不可）がありますが、原告・支援者は懇親会・交流集会を行います。進行協議終了後弁護団も加わって、裁判の今後の方向性、そして政治救済を目指す動きなど現在のの上京を皆さんで共有できればと考えています。

どなたでも参加できます。是非ご参加ください。

時間：16時～17時

場所：裁判所の隣 弁護士会館（4階または5階）